

4. 宮城県・福島県両連絡協議会会長所属婦人防火クラブ間での交流会について

宮城県婦人防火クラブ連絡協議会・吉田会長と福島県女性防火クラブ連絡協議会・遠藤会長の地元婦人防火クラブ間において交流が行われました。

視察研修について

安達地方女性防火クラブ連絡協議会 会長 遠藤瞳

さる10月29日（土）に安達地方女性防火クラブ連絡協議会では、岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会を視察しました。

今回の視察では岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会会長はじめ、役員の方々に対応をしていただきました。

活動内容をはじめ、日ごろの地震に対する備え、地域の防災に対する自分たちの果たす役割の大切さについて改めて実感しました。また、住宅火災警報器の普及啓発についても活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修となりました。

訪問に際し、岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会会長のほか、役員の方々、及び事務局の方々には大変お世話になりました。



[▲ このページの上に戻る](#)

安達地方女性防火クラブ連絡協議会との研修と、玉崎町内会自主防災隊防災訓練の実施について

岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会会長 吉田八重子

秋深く冷たい風が身に凍みる季節になりました。わたしたち婦人防火クラブも福島県安達地方女性防火クラブ協議会幹部の皆様と交歓も終わり、お互い一つの目標に向かい様々な活動をしております。火事を出さないという合い言葉で和やかな交歓でした。

最近火事より自然災害が多く、地震、台風、大雨と追いかけてっこをしているように思います。こうした対策として行政では町内会単位で自主防災組織に力を入れております。

わたしたち岩沼市でも昨年17地区で結成をしており、岩沼地区玉崎町内会でも昨年12月に結成を町内会長・副会長を本部とし、災害対策本部に地区の区長、民生・児童委員、防犯消防隊と各団体長10名で立ち上げ、広報班・防火班・救出救護班・避難誘導班・給食給水班と分けそれぞれの会長の元会員を配置しております。

特に地区内の事務所を持っているところにお願ひし、災害時における応急処置等に関する覚え書きを作り、用具の貸し出しの件をも行ってあります。

いざ訓練はと考えていると、折しも毎年行っている運動会が、第34回を数えることが思い浮かびました。その運動会終了後に実施しては？との話が出され、役員の賛成を得て準備に入っていく、各

団体との打ち合わせ、本部のあり方などを話し合い、いよいよ10月30日（日）の実行となりました。

朝から快晴の良い天気です。前の晩には雨でしたが、見事晴れあがったのです。

開会宣言をし、児童・老人・婦人会・青年会の皆様も、持ち場で天気のような心の晴れようです。岩沼市長様初め、来賓の皆様も和やかな顔。演技・競技が終わり表彰式をして閉会と同時にサイレンの音が鳴り響き、「地震発生。皆様、しゃがんで下さい」と広報があり、1分間地面に腰を下ろして待ちました。「皆様、各テントに避難してください」と放送され、7班に分かれてテントの中に入り、救出救護班による負傷者報告と同時に避難テントにケガ人の搬入です。手伝う人たち、また報告にくる人と大変忙しい動きでした。そのうちに、給水給食班（婦人防火クラブ員）が炊き出しの釜のご飯を手際よくサララップに乗せ、おにぎりを作り配ります。「少ない数のおにぎりをテントの中で分け合って食べる味は格別でした」とのご意見をいただきました。また、運動会恒例のいも煮も一緒に配られ、皆様もほっとした様子で食べておりました。

最後に市役所防災課係長様より講評をいただきました。その中で、「今日は皆さんがそろっておりますが、家にいるときは各家ごとに発生をみるのです。そのときも今日のような動きができるか、もう一度心で整理しておいて下さい」と話されました。

地震・火災は、予期しない時にやってきます。心の備えが大事です。わたしたちの地域は常に纏りがあります。いざというときには、みんなで助け合うよう、帰り道で話し合い、今日一日の楽しさと大変さを家に帰っても家族で話し合われていることでしょう。本当にご苦労さまでした。

[▲このページの上に戻る](#)

岩沼市婦人防火クラブの沿革・組織・人員等について

(1) 沿革について

昭和45年に岩沼市内の東部に位置する、比較的農家の世帯が多い二の倉地区で、家庭防火の知識の習得と防火意識の向上等を目的として、地域住民総意のもと婦人防火クラブを結成致しましたのが、岩沼市に於ける婦人防火クラブの始まりです。

二の倉地区で結成後は消防本部の指導のもと、昭和53年までに比較的、農家の世帯が多い海沿い・山沿いの24地区で結成されました。

昭和56年に24地区、会員数2,302名からなる岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会を設立致しました。その後、平成に入りまして新たに市街地の2町内で結成され、現在26地区クラブ会員数3,356名の岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会となりました。

(2) 組織・人員について

岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会の組織として、役員の構成は、会長の下に副会長2名・理事4名・監事2名の9名がおります。

また、市内を3地区に区分し地区クラブ数の多い西部地区・東部地区に各々支部長を置き、支部長は支部を取りまとめるかたわら監事を兼ねております。

(3) 地区クラブ、連合協議会の主な活動や事業について

地区クラブに於いては、それぞれのクラブの会長さんが中心となり地域に沿った内容で活動していただいております。

連絡協議会の毎年度の事業につきましては、4月の定例総会に始まり6月に岩沼市の総合防災訓練に参加、9月の第1日曜日には昭和60年から続いている、各地区クラブ対抗の初期消火競技大会や消防団員が行う消防操法競技大会、最後に行う婦人防火クラブ員と消防団員の混合リレーを行っております。

10月には地区会長、役員総勢35名で1泊2日の移動研修会を行い、他の市町村との意見交換会を

行っております。

11月にはクラブ員約1,000名参加のもと、防火の知識の習得とクラブ員の交流を図る目的に、昭和62年に始まり今年度で第19回を数える防火研修会を行っております。

1月には消防出初式へ各地区5名の、総勢140名参加のもと竹駒神社で無火災祈願を実施してから、岩沼市内を街頭行進し会場となる小学校まで行った後、市町さん初め多くの来賓者の方々の観閲を受けます。

その他の事業といたしましては、春季・秋季火災防火運動に合わせ、地区会長さんによる市内全域に亘る防火広報や火災予防の、のぼり旗の掲揚を行い防火啓蒙を図っております。

[▲このページの上に戻る](#)

婦人防火クラブ組織及び活動状況

項目	岩沼市婦人防火クラブ連絡協議会	安達地方女性防火クラブ連絡協議会
結成年月日	昭和56年7月20日	平成10年6月9日
組織構成	1 消防本部管内地区婦人防火クラブの相互の連絡調整を図る 2 地区婦人防火クラブ 25クラブ 3 クラブ員数 3,227人 4 25地区婦人防火クラブ会長のうちから役員を選出する (会長1名 副会長2名 書記1名 会計1名 理事若干名 監事2名)	1 各地域の婦人防火クラブ(婦人消防協力隊)の育成指導及び連絡調整の場として運営 2 単位クラブ 7クラブ (二本松市、安達町、東和町、岩城町、白沢村、本宮町、大玉村) 3 クラブ員数 20,239人 4 役員は、理事の互選。理事は各婦人防火クラブの会長及び副会長1名をもってあてる
予算額	350,000円	105,000円
事務局	消防署予防課予防係	消防本部警防課
目的	管内地区婦人防火クラブ相互の連絡調整を図り、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、防火意識の向上発展に寄与する	管内の市町村婦人防火クラブ(婦人消防協力隊)が相互の連携を密にし、婦人防火クラブの健全な発展を図ることによって火災予防思想の普及に寄与する
主な行事	1 普通救命講習会 役員・クラブ員を対象に心肺蘇生法の講習会 2 移動研修会 役員・地区会長により防災施設等の視察及び他市町婦人防火クラブとの意見交換会 3 初期消火競技大会 消防団の操法競技大会にあわせ25地区婦人防火クラブ員によるバケツリレーの初期消火競技大会を開催 4 防火研修会 クラブ員を1,000名集め、防火意識の高揚を集め、防火組織の効用を図るため研修会を開催 5 春季・秋季火災予防運動の参加	1 視察研修 防災施設、訓練等の見学又は類似団体等での研修 2 幹部研修 講習又は講演会 3 県女性防火クラブ等幹部研修会 女性防火クラブ及び女性消防隊の幹部としての防火意識高揚を図り、市町村のリーダーとしての育成を目的に県女性防火クラブ等幹部研修会へ参加 4 春季全国火災予防運動にあわせて防火啓蒙チラシを作成し、管内市町村全戸へ配布する 5 クラブ員と消防職員による一人暮らし高齢者住宅の防火指導(防火診断)を実施 6 春季・秋季全国火災予防運動にあわせて消防団と合同で防火パレードを実施

	<p>春季－役員による市内全域の防火広報</p> <p>秋季－婦人防火クラブ地区内に火災予防のぼり旗掲揚</p> <p>6 消防協会名取支部連合演習 ・消防出初式への参加</p> <p>7 防火のつどい</p> <p>隣接2市2町内の消防団幹部及び婦人防火クラブによる防火意識の高揚を図るため研修会を開催</p> <p>8 県婦人防火クラブリーダー研修会の参加（役員及び副会長）</p>	<p>7 消防団出初式・消防団検閲及び各種防災訓練への参加</p>
備考	<p>1.年間を通し地区婦人防火クラブで防火教室を開催 (地震・住宅防火対策・住宅用火災警報器等の勉強会)</p>	

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 首都直下地震対策大綱](#)
- [2. 平成17年度消防功労者総務大臣表彰](#)
- [3. 新潟県集中豪雨・中越地震その後 第1回（婦防リーダーマニュアル作成委員 全国地婦連 浅野幸子）](#)
- [4. 宮城県・福島県両連絡協議会会長所属婦人防火クラブ間での交流会について](#)
- [5. 平成17年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会（中国・四国ブロック）](#)
- [6. 平成17年度自主防災組織リーダー研修会（宮崎県・北海道）](#)
- [7. 安全功労者消防庁長官表彰を受賞して（静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 鈴木政子）](#)
- [8. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催](#)
- [9. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会](#)
- [10. 地方からの便り](#)
- [11. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [12. 日本防火協会からのお知らせ](#)